

UCSのGHG (Co2) 排出量

オフィスの二酸化炭素排出量 (単位 Tons)

事業年度	本社 (東京)	大阪事業所	仙台事業所	ミャンマー	合計
2020年度 (2020年7月～2021年6月)	34.0	3.3	5.5	2.2	45.0
2021年度 (2021年7月～2022年6月)	31.9	2.9	5.4	2.4	42.6
2022年度 (2022年7月～2023年6月)	32.4	2.1	5.2	8.2	47.9
2023年度 (2023年7月～2024年6月)	25.8	2.9	4.8	8.9	42.4

日本国内はマーケットベース、ミャンマーはロケーションベースで算出

Scope別二酸化炭素排出量 (単位 Tons)

事業年度	Scope1	Scope2	Scope3 (参考)	総排出量
2020年度 (2020年7月～2021年6月)	0.0	45.0	1,420.3	1,465.3
2021年度 (2021年7月～2022年6月)	0.0	42.6	1,379.3	1,421.9
2022年度 (2022年7月～2023年6月)	0.0	47.9	1,361.2	1,409.1
2023年度 (2023年7月～2024年6月)	0.0	42.4	1,619.5	1,667.4

UCSが設定した、事業所から排出される温室効果ガス（以下、GHG）の削減目標が、科学的根拠のある水準として、「Science Based Targets (SBT) イニシアチブ」に認定されました。

認定は中小企業向けであり、Scope1とScope2について2020年を基準に2030年までに42%削減する目標となっています。

中小企業向け認定ではScope3の削減目標のコミットメントは求められておりませんが、Scope3も毎年算出して削減に向けて努力しています。

2023年度の排出量に関するコメント

Scope2

本社と仙台事業所以外は対前年度比で微増となりました。引き続きCo2の削減の努力してまいります。

Scope3について

昨年度より増加しているのは、Scope3の算出精度が向上したことによるものです。より正確な算出に向けて鋭意努力中です。

